

⑤2024年問題への取組みについて

	西濃運輸	遠州西濃	伊豆西濃	丸久運輸
新たに 取組みした内容 (テーマ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善基準告示の改正に伴う、拘束時間縮小によるコンプライアンス超過している運行便について、幹線のダイヤグラムによる運行便ごとの出勤時間並びに出発時間の管理を実施している。運行便の日ごとの実績並びに乗務員のタイムカード実績を合わせた管理を実施しており、1ヶ月5回以上超過した便を優先的に解決に向かって運行ダイヤの変更、省力化、荷役分離・モーダルシフトなどコースごとに効果的な手法による改善策に取り組んでいる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既存荷主様に適正運賃の価格交渉               <ul style="list-style-type: none"> <li>→貸切・委託会社の値上げ等コスト上昇分を価格転嫁</li> <li>→適正運賃収受でSDの新規採用増&amp;労働時間の削減を行う</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集荷時間前倒しによる残業時間の削減</li> <li>荷主に理解を求め集荷時間を前倒し調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関東方面への長距離定期便の運行回数を、新改善基準告示の拘束時間の許可範囲内に収まるように業務内容を調整</li> </ul>
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行便の積載実績並びに運行実績から、運行便の減便や中継輸送の拡大による立寄り店所の削減など運行便ごとに解決策をカスタマイズし、運行時間の短縮に向けた取組みを実施している。特に長距離に関してはモーダルシフトや、立寄り店所を1店所のみにする事で時短を図っている。</li> <li>改善基準告示につき、全ての運行便に対して必要な改善を実施する必要があり、上期においても改善活動を進め、15時間超過運行コースを削減しており、下期についても継続的に取組むことで、コンプライアンス遵守に取り組む。2024年度上半期改善率:58.38%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>料金改定 目標:30社/月</li> <li>今期実績(4~8月) 累計:97社/150社(達成率65%)</li> <li>適正運賃によるSDの新規採用:2名(退職者1名)</li> <li>当日の物量に応じて、半休の積極的な取り入れ               <ul style="list-style-type: none"> <li>→有給取得率向上(10%改善:68%)</li> <li>→SD残業時間1人平均4時間/月削減</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>集荷時間前倒し効果により、1人平均月6時間の削減</li> <li>人員確保が想定通り進まず雇用基準・条件の見直しを継続検討中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年4月から半年を経過して、長距離定期便のコースメンバーについては、ほぼ拘束時間が適正に収まっている</li> </ul>